

# 会 議 録

## 1 会議名

平成26年度 第1回和田区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 平成25年度地域活動支援事業の報告について（公開）
- (2) 地域活動支援事業について（公開）
- (3) 平成26年度和田区地域協議会の取組みについて（公開）

## 3 開催日時

平成26年5月28日（水）午後6時30分から午後8時25分

## 4 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：秋山澄子、秋山三枝子、有坂正平、大島政義、小林春男、鈴木 孝、  
高島信雄、前川正治、水澤俊彦、宮下浩二、八木文夫、横田直幸
- ・事務局：南部まちづくりセンター 橋本センター長、森田係長、敷波主任

## 8 発言の内容

### 【森田係長】

それでは定刻になりましたので、本日の出席人員の確認を行わせていただきます。本日の出席人員は12名です。欠席の御連絡をいただいておりますのが、植木委員、齋藤委員、橋本委員、横田晃一委員です。

上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、会議が成立することを報告します。同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることとなります。横田会長よろしくお願ひします。

**【横田会長】**

皆さんどうも御苦労様でございます。

では、会議が成立しますので、只今から第1回の和田区の地域協議会を開会します。

本日の議事録の確認者であります。順番で有坂委員からお願いいたします。よろしく申し上げます。

それでは、2番目の「議題の確認」であります。事務局から説明をお願いいたします。

**【橋本センター長】**

— 資料・議題の確認 —

**【横田会長】**

ありがとうございました。今日の会議は2時間ほど予定をしております。8時半頃になりましょうか。円滑な会議について御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

続きまして、3の「報告事項」についてであります。

「平成25年度の地域活動支援事業の完了報告」についてであります。事務局のほうから御報告をお願いします。

**【橋本センター長】**

— 資料に基づき説明 —

**【横田会長】**

これまでのこの3件の報告がありましたが、これから質疑を一括でいただきたいと思えます。挙手の上、発言いただきたいと思えます。いかがですか。

後の議事もありますけど。もし、よろしかったらいかがですか。

これでよろしいですか。

(よしの声あり)

はい。ではですね、次に入らしていただきます。これを了承したということで次に入らしていただきます。

それでは、4の議題に入らしていただきます。(1)「平成26年度の地域活動支援事業について」であります。審議案件が2件になります。提案者からの提案説明

を受け、質疑応答、採点を行っていただき、事業の採択と助成額、補助金の決定まで行いたいと思っております。なお、会長、副会長もこの審査に加わりますので、会の進行これからは、しばらく事務局をお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。じゃ、事務局お願いいたします。

**【橋本センター長】**

はい。それでは、これより採点、審査の間は事務局で進行させていただきます。座って進行させていただきます。よろしくお願いいたします。

先ず、資料の、本日お手元にお配りいたしました「申請概要一覧」の確定版のほうを御覧いただきながら御説明をさせていただきます。

今年度の和田区の申請状況でございますけれども、助成事業2件の申請がございました。補助金希望額は442万1千円でございます。予算配分枠今年度600万円に対しまして157万9,000円の残ということになっております。採択前の補助希望額で既に余裕があるということでございますので、この取扱いにつきましては、後ほど協議をいただきたいと思っております。

それから、只今会長のほうからもお話をいただきましたけれども、審査の流れについて改めて確認をさせていただきます。先ず、提案者からの提案説明が6分以内でお願いをいたします。質疑応答9分以内、それと採点が3分以内で行います。それぞれの配分時間の1分前になりましたら、こちらのほうで呼び鈴を1回鳴らします。終了時点で2回鳴らします。採点を終られた委員の方はその時点でひとつ挙手をお願いをいたします。事務局でその都度回収いたしまして、集計作業を進めさせていただきます。以上、提案案件ごとに繰り返しまして、その後、採点結果報告と意見交換を経て事業採択という形になります。ここまでよろしいでしょうか。

(よしの声あり)

はい、ありがとうございます。それでは、お手元の資料、整理No.1の「新幹線開業に向けてのフォーラム事業」から行いたいと思っております。整理No.1の提案書と採点シートのほうをお手元に御用意ください。

はい。それでは提案者の説明6分以内でございますが、よろしくお願いいたします。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【橋本センター長】

はい。ありがとうございました。若干時間が延びましたけれども、ありがとうございました。次に、この提案事業に対する質疑応答に入ります。御質問につきましては、先ず挙手をお願いをいたします。指名をさせていただきますので、それから御発言をお願いいたします。再質問の場合も、必ず挙手をお願いをいたします。提案者の方もこちらでお示しをしますので、それからお答えのほうをお願いいたします。質疑応答は全体で9分でございます。時間が限られておりますので、採点に関係のある質問のみを、まとめて簡潔をお願いをいたします。

それでは御質問をお受けいたします。いかがでしょうか。

はい、有坂委員。

【有坂委員】

今ほどの説明で見学会なんですけれども、市のほうでもタイアップの仕方によって時間が変わるかもしれないというふうに説明を受けましたけれども、日にちが変わる可能性ってのはないんですか。

【提案者】

いや、日にちは。それはね、さっき申しましたように、市のほうで「できれば一緒に。」と、また「私らもね。」と。但し日にちは、福田こうへいさんのほうは18日となっておりますので、日にちは変えることはできません。ただし、市のほうで、「いや、その日はだめだ。」と、こうなれば市のほうで変えてもらうのであって、私らはこの日を変えるわけにいきませんので、はい。

【橋本センター長】

はい、有坂委員。

【有坂委員】

あくまでもそれじゃ、歌謡ショーとセットということで考えていいわけですね。

【提案者】

はい。

【有坂委員】

そうするとじゃ、やっぱり見学会の話ですけれども、予定が500人なので、先ほどの説明を聞くと去年600人集まったという話なんですけど、その辺は、大丈夫でしょうか。何か私自身も、もう今時分の見学だったら、月に1回やってもらってもいいぐらいな気持ちなので、もっとたくさん集まる可能性ってのは、危険性ってのは、危険性と言ったらどうか分かりませんが、ないでしょうか。

**【提案者】**

はい。それで、昨年も私ら200人というところが600人と、大変その心配いたしました。ところがですね、そして駅舎の見学をやって、それを終わらせて大和小学校、和田小学校の鼓笛演奏ということ考えたんですけれども、200人以上来られましたので、やはりそのありがたいことに鉄建のほうでもですね、非常によく誘導いただきまして、そして鼓笛演奏が始まるですね、ほとんど、多少は残りましたけれども、一緒に見ていただいたと。これがあります。それから今御心配の人数が多いというようなことから、最初はですね、駅舎の1階ですね、でもってやったらどうだろうとこういう話をしていたのですけども、今おっしゃったようなことで、ちょっと無理かなということで西口でどうかと。こういうことを市のほうと話をしてみいました、はい。

**【橋本センター長】**

はい。他にございますでしょうか。

はい、前川委員。

**【前川委員】**

はい。また今の見学の関係なんですけども。2ページの事業計画、実施計画の中では、午後4時より見学を行うというふうになってます。で、スケジュールのほうは、午後3時から見学となっておるけども、この時間的な関係で、例えば500人がその2時間の中で、全部できるかどうか心配なんですよ。

**【提案者】**

はい、何回も申し上げますけれども、1回か2回等々の経験、それから去年は今申し上げましたようにそれ心配しましたわ。ところがですね、非常にスムーズに流れてくれて、大体上手くいきました、はい。そんなことで、それで今申しま

したけども、市のほうとも私もやはりその午前中から時間を決めて、例えば申し込みをとるときにですね、申し込み用紙の中に、例えばですよ、第1回目は午前10時、2回目は午後1時、3回目は午後3時というふうにこうやって希望の用紙書いて、そこへこう書いていただいて持って行くと。こんなふうな計画をしたらどうだろうということ市をのほうとも話してまいりました。はい。ですから、今度、こういうのは（午後）5時になっておりますのでね、だから午前中に見学された方は、そこまで多少時間があるって歌謡ショーに出席されない方も出るかもしれません、はい。これはどう言ってみようもありませんけどもね。だから、1回でもって例えばその、3時からあるいはやりましてね、ずーっともっていくということはちょっと市のほうとのあれがありまして、工夫しなきゃならないと思います。

それで、今日皆さんから御承認いただければ、振興協議会ですね、役員会、理事会、評議委員会等々やりまして、具体化をもって市のほうとまた連携していきたいと、こう思っております。はい。

**【橋本センター長】**

はい。他にございますでしょうか。

はい、鈴木委員。

**【鈴木委員】**

今回のフォーラム事業費の80%は歌謡ショーを実施するための必要、これに関連する必要な経費のようですが、そこで質問なんです、歌うたいを呼ぶことで、今回皆さんのほうで提示されている事業の目的、それから期待する効果は達成可能なんですか。それ一つ。

もう一つですね、先ほど説明もありましたけれども、同じ名前のフォーラム事業、今回で4回目になるわけですね。で、今回4回目の提案をするときに、皆さんの協議会では他の事業提案の話も出たんですか、出なかったんですか。

**【提案者】**

はい。では2点申し上げますが、今鈴木さんがおっしゃったですね、そのフォーラムというその名称について、それは過去3回についてもですね、反省会のときに、「おい、いい何かないか。」というような話をいたしました、これという、

その名称がいいのではないかという話が出てまいりませんでしたので、やはり3回使ったのでその名称を使ったほうがいいだろうというようなことで、その名称を使いました。

それから、その歌謡ショーでもってですね、目的達成に果たしてどれくらいのがとの質問ですが、それは鈴木さんのお考えで私は結構だと思います。私らはただ見学会だけですと、やはりその新幹線の私はどう言ってみようもないけど、新幹線が私らの地区のところに駅ができたのだと。それからですね、そうすると非常に、言葉が当てはまるかどうかわかりませんが、やはりお互いが「ああ、やはりいいなあ。」と。「地域がこれから活性化するじゃないかなあ。」という、お互いに希望を持っているのではないかと思いますのでね。それは、鈴木さんはどうかわかりませんが。私はそういう考え方を持っていますので。そうしますと、やはりその為ですね、たくさんの方々から来ていただいて、「ああ、新幹線が開業できた。」と。「あの時にこういう催しがあったと。」ということがですね、それぞれの脳裏に焼き付くんでないかと。それがですね、活性化に役立ってくるのだらうと。こういう考え方もしております。じゃそのために呼んだのと呼ばん時とどうだというようなことはいいとか悪いとか、私はちょっといいかねます。私はそういう考えだし、会のほうもそういう考え方でやっております。はい、以上です。

**【橋本センター長】**

はい、ありがとうございました。

他にございますでしょうか。はい、有坂委員。

**【有坂委員】**

ちょっと私もそのことについては気になってたんですが。はじめ、会の趣旨とこのタレントを呼ぶということの整合性がちょっとどういうふうにか考えたらいいか迷っていたんですが、今のお話でもって、ある意味考え方がわからなくはないんですけども、それにしてはちょっと予算が多すぎるというような気がしておるんですけども、その辺もどうでしょう。

**【橋本センター長】**

はい、提案者どうぞ。

**【提案者】**

はい。

【橋本センター長】

提案者どうぞ。お答え何かございますか。

【提案者】

いや、今申し上げたとおりです。はい。

【橋本センター長】

よろしいでしょうか。他にございますでしょうか。

よろしいですか。

(よしの声あり)

はい、それではないようでございますので、この辺で質疑応答を終わります。提案者の方、ありがとうございました。

【提案者】

じゃ、どうもよろしく申し上げます。

【橋本センター長】

それではこれから採点を行います。先ず、お手元の採点シートの基本審査でございます。

こちらのほうに「適合する」、「適合しない」いずれかにチェックをお願いをいたします。その次に、採点シート3(2)にございます共通審査基準の審査項目ごとに1点から5点の5段階で採点をすることになります。0点はございません。採点時間は3分でございます。終わられた段階で、挙手をお願いをいたします。その時点で回収をさせていただきます。

— 採点・回収・集計 —

はい。以上で整理No.1の採点を終了いたします。

続きまして、整理No.2でございます。「思い出と未来を形に残すプロジェクト事業」の提案者説明でございます。整理No.は2の提案書と採点シートのほうを御用意ください。

はい。それでは、提案者説明6分以内でございますが、お願いをいたします。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【橋本センター長】

ありがとうございました。次に、この提案事業に対する質疑応答に入ります。いかがでしょうか。

ございませんでしょうか。はい、鈴木委員。

【鈴木委員】

ジオラマの制作に関心を持っているんですが、このジオラマは現在の駅舎なりその周辺なのか、例えば20年、30年前の時の脇野田駅の周辺のようなのか、どちらになる予定ですか。

【提案者】

はい。構想ではこの道路整備がされる前の、新幹線の駅の道ができる前の脇野田の駅のつもりで計画を立てました。こんなふうに田んぼが広がっていて、ここにおうちがあったよね、ということが再現できたらいちばんいいなと思っています。

【鈴木委員】

何年くらい前というふうに、考えたらよろしいんですか。

【提案者】

具体的にすいません。具体的にちょっと…。はい、申し訳ないです。

【鈴木委員】

そうですか。はい。そこら辺また検討してみてください。

それからちょっと評価させていただきたいというのがあるんですが、事業説明の中の6番(6)4ページになるんですが、次年度以降の活動の見通しと記載されておるんですが、よく検討されてここまで見通しをちゃんと立てておられるのが関心いたしました。

【提案者】

ありがとうございます。

【橋本センター長】

はい。他にございますでしょうか。

はい、前川委員。

【前川委員】

この内容を読みましたところですね、非常に事業の目的・期待する効果の中

の内容についても、本当に私も鈴木さんと同じ意見で、大変考えてるなと思って  
いますし、見方もやっぱりそういう見方でもって頑張っているなというふうに思っ  
てます。その中でイベント等のそのチラシ等のPRの仕方なんですけども、2万枚で  
すよね。2万枚についてのチラシの宣伝の仕方というのはやっぱりあれですか、新  
聞折り込みを中心にしたものであるか、それともまた違った関係箇所に配ってやる  
チラシなのか。

それともう1点、秋祭りの宣伝のチラシ、それから夢コンテストのチラシ、この  
関係については1本に絞ってできないのか。その2点になります。

#### 【提案者】

はい。先ず、そのチラシの2万枚の配布の仕方なんですけど、昨年の事業で新聞の  
折り込みでお金を使わせていただきました。その後で、この事業について各方面か  
ら評価いただいて、風船パレードですとか、そういうことに興味あるよと言ってく  
ださった事業所さんですとか、例えばその組織、博物館とか美術館とか水族館とか、  
そういうところでも、今度そのチラシ入れなくてもここで配ってあげるよというふ  
うに言ってくださったところがたくさん出て来たので、今回はその新聞屋さんには  
申し訳ないんですが、その折り込み費をちょっと割愛させていただいて、手配りで、  
みんなで分担して配ろうと思ってます。それで浮いたからというわけではないので  
すが、そのコンテストに関しては、今こんな作文をこんなふうに求めますというの  
を、いろいろつらつらとたくさん書かなければいけないので、想いでもって風船パ  
レードをしますよというのと、その事業の内容を細かくしたものを一緒に出すと、  
ちょっと混乱をするのかなと思って、二つの事業の提案のようになるのですが、2  
種類コンテストの告知、募集をここでさせていただこうと思っています。で、裏面  
にちゃんとその募集要項みたいなものを印刷したものを、モノクロで印刷したよう  
なものを再度手配りで配って行きたいと思っています。1軒1軒ポスティングという  
意味ではなく、要所要所に、学校ですとか施設に持っていきこうと思っています。そ  
れと、これをチラシわずか2万枚ですので、全戸配布をするととなると到底足りない  
んですが、それについては、新幹線・交通政策課のほうで原稿を作ってそれを持っ  
てくれば、カラーではなくなってしまうのですが、印刷をして全戸配布に町内会長  
さんたちに協力していただけるようお願いすることも可能だよということも言

われています。なので手配り 2 万枚では是非お願いしたいと思っています。

【橋本センター長】

はい。他にございますでしょうか。

はい、有坂委員。

【有坂委員】

ジオラマってのは、非常に私も興味があるのですけれども、これ一つですよ、たぶん。

【提案者】

はい。

【有坂委員】

夏バージョンと冬バージョンというわけにはいきませんか。

【提案者】

すいません。そこまで考えていなかったの、はい。90センチ真四角、もしくは1メートル真四角ぐらいのものを一体でどのぐらいかかりますかというところで、そのジオラマを作られる方が上越市に一人、お二人ぐらいいらっしゃるのですが、材料費で10万、製作費で10万ぐらいだねって言われたので、20万もかかったら四季折々というわけにも、冬バージョンというわけにもいかないなと思って一つにしたんですが、どうも…。

【有坂委員】

金余ってるから、追加ってできるんじゃないの。

【提案者】

是非お願いします、はい。上越のこの気候なので、雪がいっぱい積もった脇野田駅というのもやはり魅力的なので。どうぞ有坂委員、是非、次のテーマで。皆さんに、ここで追加しなさいと言われたら、すぐ追加します。

【橋本センター長】

はい、よろしいでしょうか。他にございますでしょうか。

はい、高島委員。

【高島委員】

振興協議会でも18日、ゆかりの会で11日。一週間ばかりの間で、こうやって

大きな事業をするにはかなりお互いに話し合いをしながら、調整というのはやったの。

**【提案者】**

はい。

**【高島委員】**

何か地域の人たちも、なんだ一週間の間にあれもこれもって一体どうなってるのか、金の使い道ないのかといった、そんな苦情も来るんだけども。何のための地域協議会だと。

それから、そんな時期的な重なりとね、それから例えばこの支出、経費の部分を見ていると、交通誘導員当たりが1万6,200円だね。振興協議会のほうは半日かもしれないけど6,480円だよ。かなりあれだな、値段の交通誘導員で見積もってあるなということと、先ほど言いましたように、チラシでもその市のほうで印刷する予定があると、それを今度は町内会をとおして配布するという予定でいなるが、これもこんなに金かからないで済むよね。それは、経費の部分だからね、収支決算も出てくるんですけど。無駄な使い方はしないと思うけども、ある程度何かこう見ていると、だいぶ予算の立て方にしても、あっちもこっちも一週間全部で同じようなことをやるについて経費の見方がだいぶ違うなど。

**【橋本センター長】**

はい、提案者どうぞ。

**【提案者】**

はい。日にちについては、この事業提案をするに当たって反省会に呼んでいたという経緯があるので、いかがでしょうということは振興協議会さんのほうに電話を入れて確認をさせていただきました。その時点で、まだ振興協議会さんのほうが18日なので御一緒にさせていただくのがいいのか、それとも前の週にやってそれをその宣伝をして、和田地区はこれだけ盛り上がっているんだよということで、一週間を一つのイベントとして考えられるほうが地元のためにいいのか。それとも、引き続き17日の夜、風船パレードやって、明日はここでこういうことがあるんだよ、駅舎見学もあるんだよと繋げていくのがいいのかというのは、今後採択されたらもっと詰めましょうねというお返事を頂戴しています。

はい、それと交通誘導員についてなんですが、昨年、風船パレードの時にお願いしたところで、夕方から夜間だったもので、そこでお支払いしたものをベースにして書かせていただきました。もし、他に適当なところがあれば是非御紹介していただきたいと思います。

**【高島委員】**

例えば10月17日というこの日を予定してなるけども、去年みたいに夏の、日が長くて天候のよい日でね、これ10月頃になってくるとね、日が短くなるし、やっぱり天候も安定してこないと思うから、やっぱり8月下旬か9月頃にやっても、別にさよならイベントだったらいいんじゃないのと思うんだけど、そんな声はなかったのか。

**【提案者】**

いや、最後まで夏にするか秋にするかというのを、皆でそのお声をたくさんいただいていたので、二つに分かれるところだったんですが、やっぱり脇野田駅がもうすぐ灯りが消えちゃうというところを盛り上げてさよならしたいねという想いがあって、実は決定ではないし、ただ言っているだけなんですけど、この風船パレードから繋いで、脇野田駅を市にライトアップしてくれという提案を陳情に言っているんで、その風船パレードが終わる、ライトアップされる、皆さんの大きなイベントがあるというふうになっていったら一番いいなというのが構想としてはあります。なので、この度…。

**【高島委員】**

それじゃ18日に日決まっているんだったら、17日の夜に風船パレードやれば。

**【提案者】**

もうライトアップして、したところでさよならだよと言って風船パレードして、じゃんじんと終了するか、それとも風船パレードから繋いでいって、ライトアップして次のイベントにするか、とにかくこの一週間だろうということは言われていますので、そこで何とかさせていただいたほうが、夏1回やって、秋もう1回とすると御迷惑だなと思ったので、今回このような提案にしました。

**【橋本センター長】**

はい。時間がまいりましたので、質疑応答はこれまでとさせていただきます。  
ありがとうございました。提案者は御退席をください。

**【提案者】**

よろしく申し上げます。ありがとうございました。

**【橋本センター長】**

はい、では、これから採点をお願いをいたします。基本審査、共通審査項目いずれも漏れ落ちのないようお願いをいたします。

— 採点・回収・集計 —

以上で、採点を全て終了いたします。

ここで集計のため、10分ほど休憩をいただきたいと思います。この時計で7時30分、19時30分再開とさせていただきます。いったん御解散ください。

— 休憩 —

はい。それでは、これより会議を再開させていただきます。先ほどの採点結果の報告でございますが、スクリーンのほう御覧ください。

先ず見ていただくのが評価結果の基本審査欄でございます。御覧のとおり基本審査で適合しないとした委員の数が過半数の事業はございません。次に、共通審査欄を御覧ください。各委員の採点合計とその平均点となっております。提案2件全てが優先採択該当でございますので、得点数の多いほうから御覧のとおり順位となりました。採点による順位はこれで確定ということになります。この採点結果による予算配分枠に対する残額でございますが、御覧のとおり157万9千円となっております。これにつきましては、後ほどまた審議をいただきたいと思います。

以上、採点結果の報告でございます。これより採択審査に入ります。会長、これより議事進行をお願いをいたします。

**【横田会長】**

では、再開させていただきます。只今の採点結果を基に、これから採択事業と補助金の額について決定することについてお諮りしたいと思います。いかがですか。よろしいでしょうか。

(よしの声あり)

はい。じゃそこに入らせていただきたいと思います。

先ずは、1点はですね、不採択事業があるかないか、出たらということですが。これからいくと、さっき説明があったとおりですね、基本審査における不採択のものはないというふうな確認でよろしいでしょうか。

(よしの声あり)

じゃ、採択していくというふうに決めさせていただきます。

それから、もう一つはですね、採択事業を決める上で、格別点数の少ないものがあつた場合はそこら辺をいろいろ検討しろという扱いになっております。その点ではいかがでございましょう。満点は25点でしたよね。で、今申し上げたことは格別低いものがあればという言い方なんです、そういうものはないという理解でよろしいですかね。

(よしの声あり)

はい。そういう意味で、先ず1点目の事業は採択についての可否は採択するというふうに決めさせていただくことでよろしいですか。

(よしの声あり)

はい。では、二つ目として、補助金額の決定であります。ちょっとこれは減額するほうがいいのではないかという視点が一つございます。そういう意味でいかがでございましょう。

事業費申請額でございます。

予算の範囲内ですから、申請額どおり決めていくということよろしいですか。

(よしの声あり)

それから、最後になりますが、採択事業、申請額をこれで決めた前提で、付帯意見を付けることができることになっております。付帯意見を付ける必要性、提案者に対して付帯意見を付けるということはいかがでございましょう。

もし、御意見があつたら出していただきたいと思います。

よろしいですか。

**【有坂委員】**

すいません、一ついいですか。

**【横田会長】**

はい、有坂委員。

**【有坂委員】**

ちょっと先ほどもこだわったんですけども、そのフォーラム事業のほうでやっぱり歌謡ショーの中身ですね、やっぱり整合性からしてですね、そのショーの進め方にしても何らかの新幹線の開業に伴ったその進め方がやっぱりあると思うんですよ。司会者がトークを盛り上げるとか、ましてや、ラジオか何かでもって流すみたいですので、その辺の工夫をきちんとしておいていただきたいなというふうに私は個人的に思います。

**【横田会長】**

いかがでしょう、有坂委員の御意見。

他の皆さん、それについていかがでございますか。

「そうだね。」っていう言い方と、「もうちょっとこうだね。」という言い方と「そこまでは。」とかいろいろあると思うのですが、有坂委員のせっきくの御意見ですから、皆さん、それに対してどうかということを出していただきたいと。

水澤委員。

**【水澤委員】**

今おっしゃった、特にBSNラジオでの公開録音という部分がありますので、やはり新幹線開業に向けた本当にその、やっぱり盛り上げの方法をしっかりと検討いただきたいということはやっぱり助言をしていきたいなというふうに思います。一言付け加えたほうがいいのかというふうに感じました。

**【横田会長】**

他にいかがですか。水澤委員の御意見を含めて。発言のなかった方々いかがですか。

はい、高島委員。

**【高島委員】**

両方とも、やっぱり市の交通政策課とも非常に関連性があるんじゃないかと思えますね。開業、信越線の移転ね、開業、それから自由通路のほうもね、開通式そういうのもみんなあるんだから、この辺、本当によく打ち合わせした中でやっていってもらいたいと思います。ただ、やった、終わったわ、何だいなというよ

うな、ただ予算消化のためのイベントにならないようにね。和田地区の地域協議会はこんなもんかねと言われないように。やっぱりやってその効果のある、やっぱり新幹線開業に向けて一生懸命取り組んでいると思われるような、そういう内容にしてもらいたいと思います。実際、今年の10月なんてまだ半年前だね。新幹線開業、ただ、今回は在来線の部分だね。

【横田会長】

はい。他の方もせっかく出たわけですから。どうぞ。御意見がございましたら。

新幹線に関するプロジェクトであって、そしてその効果が発信されるように、より伝わるようにと、御意見であり、また、市のほうとよく調整をしながら、話をしながら、いい効果をあげるよう進めてくださいねというような皆さんの御意見だったのではないかというような感じでよろしいですかね。

今ここまでの意見としては。

(よしの声あり)

他には。

じゃ、それを水澤委員の先ほどお話、ちょっと意見がありました、何らか添えると、話を添えるということについては、この最後私申し上げた付帯意見のところに協議会の意見として、付けるかどうかについてちょっとお諮りしたいと思いますが、いかがですか。

言葉を添えると、伝えるということでもよろしいかどうかですね。

よろしいですか。

(よしの声あり)

じゃ、その辺は事務局と相談して、とにかくいい効果を上げてほしいというようなことで、何らかのメッセージを発信していくということでもよろしいですかね。

じゃ、事務局のほうとこちらにお任せいただくということでもよろしいですか。

(よしの声あり)

はい、分かりました。

では、それ以外にそういった付帯意見の関係とかそういうことございませんか。

これでじゃ、よろしいですか。

(よしの声あり)

はい。じゃ、これで採択事業補助金の申請額どおりの決定、付帯意見については今申し上げたことを添えて、採択事業が決定したというふうにさせていただきます。よろしいですね、はい。

ではですね、この辺で予算の残額が発生しているわけでありまして。157万9千円ですかね。これをいかに取り扱っていくかということについて、これから少し検討させていただこうと思います。事務局のほうから説明をお願いします。

**【橋本センター長】**

はい。只今御審議をいただいたとおり、予算配分枠に、残額が157万9千円生じております。この制度の趣旨あるいは残金の額などを勘案いたしまして、事務局といたしましては追加募集を提案することとしてお諮りをさせていただきたいと思っております。

なお、事務局で考えている案といたしましては、募集期間は8月1日金曜日から18日月曜日までの間を募集期間としてはどうかということも併せて考えております。併せてお諮りをさせていただきたいと思っております。以上でございます。

**【横田会長】**

はい。ありがとうございました。追加募集をしていくという事務局の考えを今話していただきました。これについての質疑をいただきたいと思います。

いかがでございますか。

はい、高島委員。

**【高島委員】**

予算消化のためのあれじゃないですけども、この間ずっと例年出ていました吹上遺跡の整備活用、稲荷町内会で予算をもらって地域活動をやっていましたが、今回何も提案出てないんですね。

この辺を新幹線開業と合わせて、吹上遺跡だとか釜蓋遺跡だとか、こういう遺跡の部分というのはやっぱり地元からその声というのはあまりないんですかね。

まあまあ、これちょっと今の予算とは話がちょっと違うかもしれないんですけどね。

**【横田会長】**

事務処理をやっている事務局のほうから、経過の中で何か若干あったらお話いただけますか。

**【橋本センター長】**

はい。私共も当初、皆さんにもお願いしたとおり、私どものほうからもいろいろな関係団体、それからまた、実際に去年度やっていらっしゃる団体さんに御案内をさせていただきました。その中で、稲荷の町内会につきましては、まだ予定はないということで、今回は出されなかったと結果としてですね。町内会でやるものでございますので、そういう話し合いの中でもってその結論が出たのかということとはちょっと承知はしておりませんが、とりあえず今回この第一次については提出をするという予定はないということでお話を伺っております。

**【横田会長】**

はい、高島委員。

**【高島委員】**

八木さん、釜蓋遺跡の応援団長もやられるんですけどね。この31日に祭りやなんかやるんですよね。そういった地域の活動となんか、こういったのをどんどんそちらのほうに、こういう金を使ってやったほうが皆さんの関心も出てきていいんじゃないかなと思うんですけども。

ねえ、八木さん、これ31日にやるんですよね、夏祭りだったかね。

**【八木委員】**

はい。吹上・釜蓋遺跡につきましては、31日に春祭りをやりました。これについては、あくまでも市の釜蓋遺跡については、教育委員会で対応しておりますので、そこでこういったものづくり、それから花づくり、こういったものに部会を分けて計画をし、その中での金の、今のこの提案制度で出すという今の段階ではない。金については、市の予算の中で、釜蓋遺跡の予算の中で行いますという形です。あとは応援団というのを作ったんです。上越じゅうの近隣の方々も含めての応援団という組織が立ち上がりました。その人たちがいろんな応援をし、活動をし、そういうものでございますので、特にこれについてもね、要望事項として提案をするというあれは今のところありません。

**【横田会長】**

はい。ありがとうございました。

高島委員、よろしいですか。

【高島委員】

市の予算の中でやっていくと。

【横田会長】

当然のことながら、それも含めたり、これから追加募集をするっていう方針ですから、いろんな機会を通じて、それ以外のことも含めて、いろいろ多く出るようにまた皆さん方からも働きかけていただく、有効活用を事業として使っていく、あるいはまた事務局のほうからも骨を折っていただくと、そんなことで、お互いに、こうもっていったらどうかなとこんな感じしておりますけども。他にいかがですか。追加募集をしていくと、先ほど事務局の案でお願いしていくということでもよろしいですか。

(よしの声あり)

【鈴木委員】

これに関連しているんですけど。

【横田会長】

はい、じゃ、どうぞ。

【鈴木委員】

それに関連して、事務局で間に合い次第、早目にそういう案内を出してほしいと思うんです。募集する期間は8月でもかまわないんですが、案内をね、募集しますよという案内は、事務局間に合い次第、できるだけ早めに皆さんに徹底するように案内を出してほしいと思います。

【横田会長】

それはそれでどうですか、早いほうがいいに越したことはないんだけど、ただ事務手続的なことでや何かで、採択というものがある。それから…

【橋本センター長】

これから御案内をする予定でございましたけれども、とりあえずは地域協議会だより7月15日号というのがございます。こちらのほうに、今回の結果と併せて掲載を予定いたしております。その他に、私ども市のほうでも、また広報など

の他の媒体を通じてですね、皆さんに御案内をするということで、今計画をしておるところでございます。

【横田会長】

いずれにしても、今おっしゃったそれをやっていただくにしろ、そのところで少し時間的な空白できますよね。そこは例えば、極論すりゃ、数日からまた追加募集になるんですよと、こういうメッセージというのを出すのは難しいのかな。

追加募集またやりますよということを何らかのことで発信していくことは、手続き上うまくないわね。皆さんが採択、決定ができるまでは。もう決定はしたもんね、市としての手続き上のことはいいわけね。

【橋本センター長】

はいそうです。

【横田会長】

鈴木委員さんのおっしゃってるのは、できるだけ早く皆さんに、これだけの追加募集があるんですよということを伝えていったほうがいいという意味ですよ。

【鈴木委員】

そうですね。そういうことですね。

【橋本センター長】

今のお話でございますけれども、私どもまたこれから、例えば有線ですとか、あるいは公民館にチラシなどを置く予定でもございますので、今のお話も受けまして、できるだけ早急にまた報告させていただきたいと思っております。

【横田会長】

そういうことでよろしいでしょうか。

【鈴木委員】

有線放送を活用されるのもいいことですね。追加募集の件よろしく願います。

【横田会長】

はい。じゃ、せっかくのあれですから、そのように骨を折っていただくということにしていきたいと思えます。

では、追加募集の関係は、以上でよろしいですか。

はい。ありがとうございました。

では、(2) になりますけども、「平成26年度の和田区の地域協議会の取組みについて」御相談をいただきたいと思っております。せっかくの地域協議会ですから、活発にしていきたいなということが狙いのわけでありますが、先ず委員の皆さんからそのことについて提案も含めて、御意見があったら承りたいと思っております。で、合わせて、事務局と正副で、若干、過日相談したこともありますが、その前に皆さん方のほうから、これはっていう御意見があったらお出しいただきたいということで少し時間取りたいと思いますのでよろしくお願い致します。いかがでしょうか。

はい、どうぞ。

#### 【前川委員】

取組になると思うんですけども、結局、今は鈴木さんのほうから有線放送でね、幅広く募集して皆さんが町内、和田地区全体がそれをみんな聞いているわけですけども、あれだけ宣伝してチラシも入れてもらったりしたって、たった2件でしょう。そこら辺やっぱりこう事務局はじめ私ら考えなきゃいけないんじゃないかなと思っているんですよ。

私も町内会にそのあったときに、町内会長をはじめ、いろんなことでこういったものがあるから、何かそのあるでしょうという問いかけしても、あるような雰囲気は持ってても結局はこういったものに出さないという、何が原因なのかというのはやっぱりみんな考えて、もう少しこういった活動に参加していただくものを盛り上げていかななくてはと思っているんですけど。

#### 【横田会長】

はい。ありがとうございます。前川委員の御意見今出ましたが、その辺についても含めて他に皆さん方、前川委員の御意見について、今いかがでございますか。

今回2件だから…はい、どうぞ。

#### 【小林委員】

前川さんのおっしゃるとおりだと思うんですけど。私も以前から申し上げましたとおり、この和田地区をね、住みやすい、良い街にするにはどういうふうにしたらいいのかということ、この我々がもっと時間を取ってもらって、そういう

意見交換をしてもらって、それで、こんなことしたらいいんじゃないのということとは、その関係の団体の方に働きかけをすとかですね、そういったことをやっぱりやってかなくちゃいけないというふう思うんですけどね。そのために、先ず我々が時間を取って話し合う機会を作ってもらわなくちゃいけないと思います。そこからスタートだと思いますけども。

**【横田会長】**

はい。ありがとうございました。

**【小林委員】**

で、その中でいろいろ意見が出ると思うんですよね。例えば、そういう地域おこしとか、ちょっと言葉が違うかもしれませんが、そういった例えばリーダーがいないんで、じゃリーダーをどうやって養成していくとかですね、あるいは我々はどういう協力していったらいいのかとかですね、そういったこともいろいろ意見が出てくるんじゃないかなというふうに思います。

**【横田会長】**

ありがとうございました。お二方から具体のどうしようかということでお話が出ておりますが、それに対する御意見いかがでございますか。そうだと。せっかくの出していただいたわけですから、それに対しての皆さんの他の方の御意見をいただきたいと思います。まだ時間もですね、だいたい見込み通りに進行しますので、御遠慮なく発言いただきたいと思います。

大島委員さん、はい。

**【大島委員】**

私思うんですが、先ほどお話がありました、前川委員のほうからお話があったように、あれだけ有線放送を通しながらですね、説明し、皆さんの新たなその考えを喚起するような、その放送を何度も何度もされているんですが、やはりこの地域の特性というか、何というんでしょう、人間味というんですか、非常にこの何か前へ出るこのことが、ややできないようになってきているというような気がするんですが。例えば高齢者の場合にもですね、組織に入っていなかったり、あるいは各家庭にばらばらになっていたり、そういう人たちが何かこう集まって、この事業に参加すとか、あるいはその生きがいを持つとか、そういうふうなことを

してあげるような手立てが必要じゃないかなというような気もいたします。ですから、他の団体とですね、もう少しじっくりその話し合いを一つしてみる必要があるのではないかなと、こう思いますけど。

**【横田会長】**

はい。ありがとうございました。今の話し合い、他の団体と、という御意見だと思います。みんなそれぞれ関連性があることを発言していただいております。

宮下委員さん、その辺のところ、今のいただいた御意見について、はい。

**【宮下委員】**

任期も3年目に入るんですかね。入ってるんですけど。何となく今、大島さん言ったように一つにまとまろうとしないんですよ。この何かすら感じるんですけど。会議の中でさえそういう空気がありますよね。こういうふうにすぐ答えてくると。それがどうしたらいいのかなと考えているんですけども。どうすればいいのかな。もうちょっと、いわゆる協議会自体はそういう話し合いの場所じゃないんですよ。と思うんです組織的にみて、市長の諮問機関になるんだから。諮問機関のことをやればいいんだと思うんですけど。それに代わるイベントいっぱいつくって協議会がもうちょっと集まってやっていただく。そんなふう到我々も入っていくようにしてやればいいのかなと思いますね。何かいくつか、皆ばらばらではないかと思うんですよ。一つにまとまって行動をとらない、とらないとしているのか、言い方は失礼ですけど、何かそのような気がしているんですけどね。

**【横田会長】**

はい。ありがとうございました。段々こう広くなっていくんで、秋山さん、秋山澄子委員さんいかがですか。

**【秋山澄子委員】**

はい。私も別に町内会の役員をちょっとやってたりして、出ると何となく言っても、「あっ、そうね。」というぐらいに流されるような感がして。皆あまり、ここ何年間やってるんですけど、まだ浸透はしてないような気がするんですよ。でもどうやって浸透させたらいいのかっていうのを私自体もよく分からなくて、他の地域協議会の人たちの女性部の人ですけど、すごくて、怖くて入っていけないみたいに意見が出るっていうところもあるかと思えば、静かなところもある

んだよというのを聞くと、うちはもう静かなほうなのかなと思うし。それを活発化していくにはどうしたらいいというのは、まだ私の中にも答えをとるか、そういう、どのようにしたらいいっていうのは、まだ考えとしてはまとまっていないので。

**【横田会長】**

受け手というか、住民側のほうの視点と、委員側のほうのね、両方のね、ちょっと出てるような気がしますけれども。八木さん、いかがですか。八木委員さん。時間まだちょっといいですよ、ありますよね。いかがですか。

**【八木委員】**

私もこの協議会委員になる前に感じていたこと。そして、なってから皆さんに申し上げましたけれども、確かにいろんな団体あるいは仲間、いろんなものが和田地区の中にあるんですね、で、その人たちは何をしたいか、この辺の把握というものが我々の運命じゃないか。出て来るのを待つというのではなくて、そういう話をしたこともありますけども。余り出ませんね、提案はね。

私の昔の仲間、大潟町に地域協議会の会長をやられる方もいらっしゃるんですけども。それと、直江津のほうもちょっと知り合いでございましたけども、非常にいろんなところからね、これはこうしたい、これをこうしたい方がいいのではないかというものがどんどん出て来ているんですよ。だから、その辺を和田地区と比較した場合、和田地区が低レベルだな、何が原因か。いろいろその地域性もあるものかもしれない。あるいは新幹線という大事業、あるいは道路関係もね、かなり工事をいろいろやっているから。それから、田んぼ関係のほ場整備もどんどん進んできますんでね。この辺からいっても余り出すものが絶対はないのかもしれない。本当にそうかといって、奥へ入ればね、そうでもない。秋山副会長もいろいろな御意見を、私らもいろいろと知りたいんだと、どういふ皆さんがあれをもっているかということをよく言われますけれども、確かにその辺のやり方が良くないんじゃないのかな。どこか欠落しているのかね？そういうのはよく分かりませんが、それが改善しない限りは、どんなにあれしても、提案というものの下地がきちんとできていない限りは、たぶん、伸びないかな。やり方をまるきり変えないと、抜本的に。その辺をどういふふうにしてやったらいい

いかという、我々のこの中での打ち合わせというものが特に必要じゃないかなと思います。難しいとは思いますが。

**【横田会長】**

はい。ありがとうございました。もうひとつ、水澤委員さんいかがですかね。

**【水澤委員】**

なかなか難しいですね。私も長くやってきて、ただ、地域性が一番だろうと思いますし。どうなのでしょう。先ほど、宮下さんがおっしゃったように、この会はやっぱりその活性化させるために私たちが集まったわけではないと思いますし、ただ、当然一個人としていろんな会に所属しているんでね、そこへ帰ってしっかりその提案できる側にね、にも回りたいなと思いますし、そういうまたバックアップも一個人として、地域の一個人としてやっぱりしていければというふうに思います。これ委員という立場は、やはりここでみんなで協議して何か事業を興しましようというわけにはいかないと思いますので、一個人の立場として、いろんな会にいったときにまた話はしたいと思います。はい。

**【横田会長】**

はい、ありがとうございました。

秋山副会長さん。

**【秋山副会長】**

そうですね、難しいですね。ただ一つ、事前に会長さんと事務局と話して途中で、私の中でちょっとこのところ認識が変わってきたのがあります。委員の選出、それからこう申請の団体が少ないっていうのが、なかなか他の活発な地域と比べると劣っているのかなという印象はぬぐえないでいたんですが、私自身、和田区ってやっぱり、すごく町内会とか既存の組織、ある意味何か変な言葉でヒエラルキーじゃないけれども、階層も含めてきちんとできていて、そこはまだ機能していて、そんなに地域の中で課題として見えるものが私自身もあまりないから。たぶん個々のいろんな分野の団体が出てきにくいっていうか、そういうのがあって、それが悪いことでもないのかなと。すみません。それは和田区の歴史の中で、ある意味いい面なのかなとも、一つ最近感じています。

私がやっているNPOの活動は隙間産業ですので、そういう、こう、どういっ

たらいいかな、漏れているようなところに対応していく。そこに共感する人たちで団体を作るので、やはりやる気もありますし、そこと一概に比較はできないなと思っています。和田区でじゃどうしてそういう団体がいないのかなと思うんですけども、本当に今地域があまりにも変貌しつつある過渡期なので、やむを得ないのかなと思っていますね。もうちょっとこう地域が落ち着いたり、既存の組織がもうちょっとガタガタしてくれると新しい芽が出て来るかと、そんな気がしています。

**【横田会長】**

はい。分かりました。あと、ここだけはって方いらっしゃる、今、出た意見に対しての。

**【宮下委員】**

ちょっと、いいですか。

**【横田会長】**

はい。

**【宮下委員】**

今、出ましたように、地域の代表ではないんですよ。例えば何丁目の。入り込んでもね、立場にないと思うんですよ。地域を代表して申し上げる人間ではない。個人で入って来ているよね、これはね。ですから、何かそこがおかしいよね。中へ入り込めないっていうかな、地域に入っても。地域から、じゃ、お前、これ頼むからお前しゃべってこい、ではないからね、個人だから。あくまでも個人っていう考え皆さん思っているんじゃないかなというのは。ちょっと違った意見かもしれませんが、そこら辺はあれですか。ぶつただけね。

**【横田会長】**

はい。いろんなまだまだあると思いますが、そろっと時間のことも、進行管理もありますので。ここで若干の御提案というか、お諮りしたいんですが、「このままではちょっとどうなのかな、もうちょっと活発になろうよ。」というのは皆さんの今の共通のお話かなと思って受け止めております。で、それは何かというのはちょっとですね、喉元に引っかかって見えにくいというのが今の状況。そこで、ちょっとお諮りしたいことはですね、先ほど触れたとおり、正副、私ども会長と

事務局と過日、先ず基礎的にもう一回こういう研修というか検討をしてみてもどうかということをお話し合いました。で、そのたたき台と申しますかね、試案みたいなものをちょっと今日事務局で整理してもらって用意してもらってあるかと思っておりますので、それをこれからお配りしたいと思いますし、そのことについて、もうちょっとどうするかということをお諮りいただければありがたいと思っております。そういうところに入ってよろしいでしょうか。

(よしの声あり)

はい。では、事務局よろしく申し上げます。

**【橋本センター長】**

はい、それではこれからその資料を配らせていただきます。

**【横田会長】**

合わせてちょっと事務局のほうから説明していただけますか。はい。

**【森田係長】**

お手元の皆様のところへ届きましたでしょうか。私のほうから簡単に説明させていただきたいと思っております。この資料につきましては、3月に一度、地域協議会終了後ということで、皆様からざくばらんな意見交換会ということで時間を取らせていただいたことも踏まえまして、そのときのお話等、あと先ほどの会長さんのほうからお話ありましたが、正副会長さんと事務局で、地域協議会の皆さんの議論をより活発にさせていただくために何ができるのかということで、いろいろ検討をさせていただきました。それを踏まえまして、たたき台としてこの資料のとおり作成させていただきました。概要についてちょっと説明させていただきます。

1案としましては、新幹線開業などで大きく変わる和田区のこれからについて協議会の皆様に考えていただこうということで、上越市創造研究所の研究員をアドバイザーに加えて、和田区の人口や世帯数の推移のデータを参考にして皆さんに意見交換をしていただこうという内容です。

2案としましては、昨年度から進めております上越市地域協議会の検証会議の委員の三人の先生いらっしゃるんですが、どなたかに講師をお願いしまして、上越市の地域自治区制度について皆さんでいろいろ話し合ってみてはどうかという

ことの御提案です。こちらの2案のほうには、今ほどもお話ありました活動支援事業の内容も一部含まれております。いずれも実施時期は未定でございますが、地域活動支援事業の審査採択、市の諮問など、今後の審査に合わせて計画していればいいのではないかと考えているところでございます。以上です。

**【横田会長】**

はい。ありがとうございました。こういったお互いの相互で話し合ったり、それからいろんな話を聞いたり、その上で研修って形で進めていったらどうかなというのが、過日のお話の結果でございます。今の説明について、いかがでございますか。御意見、質疑いただきたいと思えます。

この後、また皆さん方の中で、こういうことやればいいじゃないのという御意見、提案があったらそれはまた随時ですね、御相談して行こうと思っておりますけれども、それはそれとしてですね、今事務局から話のあったこの委員研修の実施の案について、基本的にはいかがでしょうかでございまして。

御意見もしありましたら、もしというか是非いただきたいと思えますが。高島委員さんいかがですかね。

**【高島委員】**

はい。こういう外部の講師を呼んで話を聞くのは非常に参考になりますね。

地域活動の進め方一つにしても、予算の使い方にしても参考になると思えます。それ以前にやっぱり思うのは、例えばそのためには地域の人たちが何を望んでいるかということがやっぱり本来はそこが原点だと思うんだよね。そのためには、たぶん、本当にこういうのも大事ですけども、例えば去年やったような直江津の火力発電所の見学を町内会の人たちだとか、振興協議会の人たちだとか、ああいう人たちと一緒にしながら見学して、いろいろ意見を交わす。それから、今年、4月か5月ころか何かありましたよね。防災、避難所の件のね。あれも地域協議会も関わっていますよね。だから、そういう地域のことにいろいろ足を運んで、どこに何が今必要なのか、やっぱりそういうことを地域の中で考えておくのもいちばん大事になってくるのではないかと思います。

これは本当に大事なことだね。学者の先生が大所高所で立派なことだと思いますけど。でもやっぱり地域協議会というのはそこに住んでいる人たちのためにあるの

だからね。例えば、直江津の街に住んでいる人やら、高田の街の中に住んでいる人、和田区に住んでいる人たちのために和田区の地域協議会ってのがあるんだから、そこがやっぱり原点だということを忘れないように考えて。

**【横田会長】**

はい。ありはとうございました。

鈴木委員さん、いかがですかね。

**【鈴木委員】**

はい。今回の1案、2案についてね、この対象の人を委員だけではなくてね、各団体の方にも案内を出してはどうでしょうかね。委員研修という場ではなくて、和田地区全体でこういう話を聞いてみようということで、他の団体さんにも声を掛けたらどうでしょうかね。その他に、一般の方で、興味のある方、参加してよろしいですよという案内のほうがいいのかなとは思いますが。

**【横田会長】**

はい、ありがとうございます。他に、これはって。こういう見方があると、御意見ございませんか。

ではですね…。はい、どうぞ。

**【小林委員】**

ちょっと一ついいですか。

**【横田会長】**

はいどうぞ。

**【小林委員】**

これを実施するために、その目的っていうのは、何を目的としているのか、そこから辺をちょっと聞かせてください。

**【森田係長】**

はい。目的としましては、先ほど来から皆様から御意見が出ている、先ずこう地域協議会の中の議論の活性化というものも一つあるかと思っています。併せて、地域のことをよく知るといふ必要もあると思っています。で、今ここの中にはなかったんですが、その地域の方と直接こう交流する、意見を交わすという機会もまた必要になって来ようかと思っています。そういう意味では、今回御提案した内容は、地域の方

というのが入っていない御提案になっていますが、また先ほど鈴木委員さんからお話  
がございましたように、どういう形でやっていくかというのは、これから御検討を  
いただければいいのかなと思っていますが、大きな目的は、先ずこの協議会での皆  
さんの議論の活性化だとか、地域のことをこれからより把握していくということを  
目的にしたいと思って考えました。

**【横田会長】**

そのときの話に参画したあれで、ちょっとこう私のほうの話をさせてもらいます  
が、一つはですね、やっぱりこの地域協議会ってのはそもそもどういう制度なのか、  
もう一回その第二ラウンドの2年経ったわけで、もう一回ですね、ここをしっかりと  
押さえてみる必要性があるのではないかと、委員としてお互いに自己研修してみ  
ようと、こう意味が一点ですね。お互いにその埋め合わせをしていこうと、これが  
一つ。

もう一つはですね、さっき1案のほうも話してもらったんですよ。創造行政研  
究所ってのは、こういった市のそれぞれの各地域の事柄も含めて、一生懸命常日頃  
研究、勉強をして、いろんなデータベースを持っているわけですから、全体から見  
た和田の例えば、高齢化はどうなっているとかですね、人口の増減がどうなっ  
ているとか、そういった言い換えれば、データで見た和田地域みたいなことを、そ  
の辺から情報提供してもらって、お互いちょっとそっちから見てみようではないか  
と。こういう2点の意味も含めて、こんな提案になったということをちょっと付け  
加えさせていただきます。それはそういうことでいいわけですね。

**【森田係長】**

はい。

**【横田会長】**

ではですね、これについては一つこれも参考にしながら、それから先ほどお二方  
から、地域に足を運んでとか、あるいは、他の団体にも声をかけて一緒に研修した  
らどうだと、非常にいい御意見もいただきましたので、それらも含めて研修してい  
くと。そして、その具体的な計画については、事務局そして私ども正副にこの辺を検  
討させていただくという取り扱いをするということでいかがでございましょうか  
ね。

よろしいですか。

(よしの声あり)

はい。それででは取り組んでみるということにさせていただきたいと思います。時間もだいぶ経ってまいりました。

それではですね、第5の「事務連絡」に入るところであります、その前にですね、以前に回答が市のほうで保留になっている案件が二つございます。事項としては「18号の立体交差の計画」がどうってことであります。

もう一点は、「市街化調整区域における固定資産税」がどうなっていくのかと。これを追って回答するっていう取扱いになってましたので、事務局のほうから事務連絡の前にちょっと説明させていただきます。では、事務局お願いします。

**【橋本センター長】**

はい。今ほどの件につきましてですけれども、私どもまた、担当部署のほうに確認をいたしましたので、御報告をさせていただきます。

まず、今年の12月でしたと思いましたが、新幹線新駅周辺整備事務所の新幹線に係る説明があったときに、国道18号上新バイパスの岡原交差点付近の立体交差の計画についてはどうかという御質問があったかと思えます。この辺につきましては、市の新幹線新駅周辺事務所と、それが関係機関にもその確認をした結果といたしまして、現時点ではこの立体交差の計画はなくまた平面交差で現実に都市計画決定をされておることとございました。なお、今後は交通量を見ながら必要な検討をしていくこととなるというような回答をいただいたこととあります。

それと、3月の協議会でございますが、御質問のあった「新幹線新駅地区地区区画整理事業区域における都市計画税の税負担調整措置について」ということとございますけれども、御質問のあったとおり、「使用収益開始後の都市計画税について」でございますが、これにつきましても、固定資産税と同様の税負担調整措置はあるという回答でございます。ただ、この内容につきましては、例えばそれぞれの開始時期あるいは土地利用の現況によっていろんなケースがあるということですので、市の担当課、これは新幹線新駅周辺整備事務所の換地補償係、あるいは税務課の土地係が担当しておりますけれども、こちらのほうへ直接お問い合わせ

わせいただければというような回答でございました。

以上、2点の報告でございました。

**【横田会長】**

ありがとうございました。では、質疑応答をいただきたいと思います。いかがですか。この回答でよろしいですか。

(よしの声あり)

はい。もし、また何かありましたら、個別にまた担当課のほうも話をしてくれると思いますので、ではこれで回答が済んだということにさせていただきます。

次第の最後になります。5の「事務連絡」に入らせていただきます。事務局お願いします。

**【橋本センター長】**

はい。それでは、最後、事務連絡をさせていただきます。

まず、地域活動支援事業の今後のスケジュールでございます。本日この審議をいただいて、また結果が出たということでございますけれども、市では本日の採択結果を受けまして、速やかに補助金の交付決定を行う予定でございます。で、これも本日御協議をいただいたわけでございますが、追加募集の募集期間は8月1日金曜日から18日月曜日で、協議のとおり実施をさせていただきたいと思っております。期間は2週間程度ということでございますけれども、委員からの呼び掛け、あるいはセンターへの情報提供もまたよろしくお願いをいたします。

それと、先ほどこちょっとお話を出しましたけれども、地域協議会だよりでございます。今のところ、7月15日号の協議会だよりを広報上越と併せて、発行配布を予定をいたしております。掲載内容につきましては、本日の採択結果の他、本日も先ほどこちょっと申しましたこの追加募集についての内容、その他今回から各委員から感想等を寄せていただきまして、順次これを掲載をしていったらどうかといったような考えを持っております。いずれにいたしましても編集委員と確認をしながら発行させていただきたいと考えております。なお、この編集委員についてでございますけれども、昨年8月の協議会で一年ごとに交代をするという協議をされました。今回から交代ということで、斎藤委員、鈴木委員、高島委員、橋本委員の4名が編集委員となります。こちらのほうも一つよろしくお願いをい

たします。

それと、最後でございますけども、今後の協議会の日程でございます。次回第2回の協議会でございますが、これも案件等、今後の状況もございますので、また正副会長と御相談の上で日程の調整をさせていただいた上、また御案内をさせていただきたいと思っております。なお、いずれにいたしましても、先ほどの追加募集の審査採択につきましては、先ほどの8月1日から18日の募集の日程でいきますと、9月上旬から中旬頃に実施する見込みでございます。こちらのほうもお含みおきいただきたいと思っております。以上でございます。

**【横田会長】**

はい。ありがとうございます。御質疑をいただきたいと思っております。いかがですか。よろしいですか。

(よしの声あり)

はい。あのじゃ御意見どおり早めに地域にPRしていくようなことに努めていきたいと思っておりますので、じゃ事務連絡のほうをこれで終わらせていただきたいと思っております。

はい。ほぼ予定した時間になりましたので、格別なければこれをもって第1回の地域協議会を終了したいと思います。じゃこれで終了させていただきます。ありがとうございます。

9 問い合わせ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課  
南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。